

■活用状況(全体像)

区分	令和元年度～ 令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額(千円)	103,475	32,927	136,402	69.0%	人材育成の支援や市内公共建築物等への 木材利用ほか
譲与額(千円)	148,121	49,628	197,749		

■令和6年度 森林環境譲与税の活用状況

区分	事業区分	事業費(千円)		事業概要
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	災害に強い森づくり	17,698	16,442	配電線、通信線、道路等周辺の風倒木等被害を予防するため、危険木の除去(0.54ha)を実施した。
	重要インフラ施設周辺森林整備	3,201	2,519	道路等のライフライン沿いの伐採跡地に植栽(1.369ha)を実施した。
	森林境界明確化	9,452	6,041	効率的な林業生産活動につなげるため、森林境界の明確化(112.87ha)を実施した。
	自伐型林業モデル林整備	1,310	1,310	自伐型林業の実践をPRするためモデル林(間伐:1.0ha、作業道整備:200m)を整備した。
	造林事業補助金	10,036	6,615	森林の健全な育成を図るため森林施業(下刈り7.7ha、雪起こし8.58ha、枝打ち0.52ha、間伐104.1ha、テープ巻き6.02ha、防護柵816m)に対する経費に一部助成を行った。
基金積立		16,701	16,701	高島市森林環境整備基金条例
合計		58,398	49,628	

森林境界明確化事業

効率的な森林整備を進めるため、森林境界の明確化を進めます。

【課題】

木材価格の低迷、森林所有者の高齢化、林業従事者の減少等により山離れが進む



【明確化の実施】

森林境界の明確を進めることにより森林施業の集約化や適正な施業実施に向けた体制作りを目指す